

【特別養護老人ホーム ローズガーデン甲子園】

＜サービス評価実施日：平成29年12月18日＞

施設の概要	施設名称等	<p>特別養護老人ホーム ローズガーデン甲子園 (定員75名) 〒663-8179 兵庫県西宮市甲子園九番町10-50 TEL0798-81-5037 FAX0798-81-5031 (URL) http://toyonaka-fukushikai.com (E-mail) koushien@toyonaka-fukushikai.com 平成28年4月1日 開設</p>
	施設長名	辻村 広志
	基本理念	<p>家族のような絆を目指して かけがえのないこの時を すべての人が自分らしく輝くように 私たちは、 ひとりひとりの心に寄り添い あなたとともに歩んでいきます</p>
	居室	居室75部屋 (1人部屋75室)
	併設事業	<p>短期入所生活介護 (介護予防含む) 通所介護 (介護予防含む) ケアハウス 居宅介護支援 診療所 小規模保育園</p>
特徴的なサービス事例	<ul style="list-style-type: none"> ・働く環境の整備を進めており、年間休日140日制、週休3日制の導入や、企業主導型保育事業にも着手し、職員の声も聞きながら、風通しの良い施設運営を目指している。 ・職員の声からつくりあげられた理念が掲げられており、一人ひとりが自覚を持って取り組んでいる。 ・介護技術を確認する試験方式の考課システムがある。 ・食事形態は、普通食、粗きざみ食、やわらか食、ゼリー食、ミキサー食、ソフト食があり、多様なニーズに対応できる食事形態になっている。 ・やわらか食は、普通食より加熱時間を長くして細かく刻んだものをゼリーで固め、片麻痺がある人でもフォークで食べられるようにしている。見た目もきれいで栄養価も高く誤嚥しにくく工夫されている。 ・栄養士が、食事場面を見守り、その際に利用者の意見をすぐに献立に取入れている。 ・ユニット行事として、お寿司や天ぷらや年越しそば等を作ったりしている。 	

<p>特徴的なサービス事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パン作りやお好み焼きを入居者と一緒に調理している。 ・世界各国の料理に取組み、食の楽しみにつなげている。 ・4階のベランダにて花火大会や夏祭り等において家族や地域の方々と一緒に楽しんでいる。 ・野菜市や出張デパート、小学生への認知症サポーター養成研修を実施し、地域と連携が強く図られている。 ・小学生を対象にした養成講座やシニア層を対象にしたセミナーを実施し、地域の方との関係が築かれている。 ・事業所内保育により、職員が働きやすい環境を構築するとともに、地域からの園児の受入れも行い、地域交流の場となっている。 ・職員で野球チームを作るなど福利厚生が充実している。
<p>施設全体の総評</p>	<p>甲子園球場に近い市街地に位置し、開設から2年目であるが、地域に根ざした施設づくりを目指し各種の取り組みが行われている。</p> <p>職種間の意思疎通も円滑で、これからのケアのあり方に対する取り組みに関しても積極的に行われている。また、働きやすい職場づくりに関する取り組みとして、事業所内保育や、年間休日140日制の導入など先駆的に行われていることは、評価できる。</p> <p>今後は、地域との関わりをさらに進めるとともに、ターミナルケアの推進やケア内容の充実によって、地域の中の福祉施設としての役割を高めることを期待する。</p>
<p>受け入れ施設による評価後のサービスの質の向上に向けた取り組み</p> <p>(1) サービス評価事業を受け、次年度につなげていきたい項目、課題について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理念について <ul style="list-style-type: none"> 施設内の目のつく位置に法人理念の掲示を追加した(計9箇所)。 会議や朝礼時に、理念唱和が当然のように行われている状況にしていく。 2. 苦情対応について <ul style="list-style-type: none"> すべての職員が苦情解決のフローチャートの内容を適切に把握し、責任者・担当者・第三者委員を明確にしておく。 3. 給食について <ul style="list-style-type: none"> ローズガーデン甲子園“ならでは”の給食づくりを目指す(選択食、郷土食) 4. 家族との連携について <ul style="list-style-type: none"> 利用者家族への定期的なお便りを出す。利用状況に関する満足度調査を実施する。 5. 金銭管理について <ul style="list-style-type: none"> 管理サービスの概要を理解しきれていない職員への内容の指導。併せて管理サービス以外の費用についてもふれることで金銭管理への意識付けを行う。 	

(2) (1) の項目についての具体的な方法について

1. 理念について

単なる周知にするのではなく、理念の経緯や意味に言及することで理念そのものの捉え方に重点を置く伝達をする。入職時研修（平成 30 年 1 月より全職員対象で毎月または新入職員が一定数到達時に開催）にて導入。

2. 苦情対応について

館内の職員写真掲示版にて、苦情担当責任者および受付担当者を明確に表示した。

第三者委員については、当法人で稼働した実績がないものの、その定義等について、入職時研修で本件に関する説明パートを設ける。

3. 給食について

展開されつつあるオリジナリティのあるメニュー（ナシゴレン、シンガポールチキンライスなど）に対し、職員がそれらへの予備知識をつけて伝えていくなど、食事の“楽しさ”を伝えるような食環境づくりを推進する。

4. 家族との連携について

利用者家族へのお便りは年 3 回（4 ヶ月に 1 回）のペースで出す。介護職は勿論看護師からのコメントも入れるなどして有益な近況報告ツールにしていく。初回発送は年度明け 4 月を予定。満足度調査は現在作成中。年 1 回年度明けに実施。

5. 金銭管理について

各ユニットのリーダーからそれぞれのスタッフへ理解の誤差を生まないように伝達する。リーダーは不明点を総務に問うなど体制を整理する。